

利用案内

・開いている日

火曜日～日曜日 9時30分～5時

・お休みの日

月曜日・月の最後の平日

その他のお休みは、図書館のカレンダーを見てね！



すいせん図書案内

こどものほんだな

(小学4～6年生向き)

《先生・保護者のみなさんへ》

「こどものほんだな」は、平成24年7月から、平成25年7月までに出版された児童書の中からおすすめする本を図書館が選び、子ども達に紹介するものです。子ども達と一緒にぜひお読みください。



図書館の電話番号

松戸市立図書館本館	365-5115		
子ども読書推進センター	331-0077		
明分館	368-6705	常盤平分館	387-2528
古ヶ崎分館	367-4500	二十世紀が丘分館	392-7022
小金分館	343-8658	松飛台分館	386-6401
小金北分館	343-3302	馬橋分館	341-4100
小金原分館	344-8269	馬橋東分館	346-2054
五香分館	386-8250	稔台分館	367-7196
新松戸分館	343-6006	六実分館	385-0117
東部分館	391-0595	矢切分館	368-1243
八柱分館	387-2613	八ヶ崎分館	348-6636
和名ヶ谷分館	392-1102		



富士山うたごよみ

春分や夏至、大雪など二十四節気と一緒に、俵万智さんの短歌がそえられています。全部のページに、ユーモアあふれる富士山の絵がいっぱいに描かれていて、絵と短歌の両方を楽しめます。

(俵万智短歌・文 U・G・サトー絵 福音館書店刊)

松戸市立図書館 平成25年度版



ピアノ調律師

小さな女の子のおじいちゃんは、ピアノ調律師。おじいちゃんはデビーをピアニストにしたかったのですが、デビーはピアノの調律に興味がありました。そんな時、町に有名なピアニストが演奏にきました。
(M・B・ゴフスタイン作・絵 末盛千枝子訳 現代企画室刊)



名前をうばわれた少女

この物語はヒトラーがいた時代のチェコスロバキアの少女をモデルにした作品です。少女ミラダは、とつぜん家族とひきはなされ、あるセンターに連れていかれました。そこでミラダは、ドイツの少女になる教育を受けます。
(ジョアン・M・ウルフ作 日当陽子訳 朝倉めぐみ絵 フレーベル館刊)

チョコレート屋のねこ

小さな村のチョコレート屋に、おじいさんとねこが暮らしていました。ある日、ねこはおじいさんが作った“チョコレートねずみ”をくわえて、出かけていきました。
(スー・ステイントン文 アン・モーティマー絵 中川千尋訳 ほるぶ出版刊)



わたしのひよこ

4年生になってクラスがえがあった。学級会で「他者紹介」をした。「だれかいませんか？平田ひな子さんを紹介してくれる人」先生が明るくそういった。
(磯みゆき文 ささめやゆき絵 ポプラ社刊)



狛犬の佐助 迷子の巻

明野神社では、悪いものが入ってこないように2頭の狛犬が神社を見張っています。石でできた2頭の狛犬は、毎日会話をしていますが、その会話が聞こえるのは6才になっていない子どもだけでした。
(伊藤遊作 岡本順絵 ポプラ社刊)



おいっちにおいっちに

おじいちゃんはぼくの一番の親友。おじいちゃんはいつもぼくと一緒でした。ある日、おじいちゃんが脳の病気になってしまいました。
(トミー・テ・パオラ作 みらいなな訳 童話屋刊)

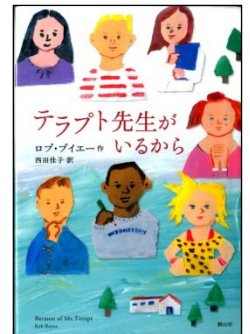
海のうえに暮らす

インドネシア、フィリピンの近海にバジョと呼ばれる人々が住んでいます。バジョは、魚をとりながら船の上で生活をしています。人とのつながりや自然と暮らす知恵など、彼らの生きいきとした生活をのぞいてみてください。



セラプト先生がいるから

スノウヒル小学校で5年生になった7人の子どもたち。新しく担任になったセラプト先生はちょっと変わった授業を行います。そして子どもたちは、学校が少しずつ楽しくなっていました。
(ロブ・ブイエー作 西田佳子訳 静山社刊)



(関野吉晴著 ほるぶ出版刊)